

尚学院

3 K S 英語基礎

長文読解  
《読解の初歩》

氏名 \_\_\_\_\_

# 目 次

はじめに		… 1
<b>英文を読むための基礎知識</b>		
1	品詞	… 4
2	文型	… 5
3	句と節	… 8
4	並列	… 11
5	語順変化を意識する読み方	… 13
Lesson 1	Phrase Reading (1)	0. 「英語の文章を読む」とは? 1. フレーズ・リーディングの基本 2. フレーズの区切り方① … 18
Lesson 2	Phrase Reading (2)	3. フレーズの区切り方② 4. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む① … 23
Lesson 3	Phrase Reading (3)	5. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む② … 28
EXERCISES 1	Phrase Reading	… 32
Lesson 4	文のつながり(1)	1. 言い換え語句① 2. 言い換え語句② … 36
Lesson 5	文のつながり(2)	3. 文と文をつなぐ語句 … 40
Lesson 6	文のつながり(3)	4. 文の展開ルール … 49
EXERCISES 2	文のつながり	… 52

## はじめに

大学入試の英語は、何と言っても長文の読解力で決まる。昨年度から始まった大学入学共通テストでは、第1問から第6問まで全て長文読解問題が出題されており、また大多数の私立大・国立大、中堅大・難関大の入試においても、長文読解総合問題は必ず出題され、配点の大部分を占める。よって、「**長文読解を制する者は入試英語を制す**」と言っても、決して言い過ぎではないのだ。

しかし「英語長文を読む」と一口で言っても、実は長文読解は「単語を知っていたら読める」とか「文法が分かれば読める」とか、何か1つ2つの技術を身に着けるだけで簡単に読めるようになるものではなく、語彙力・文法力・速読力・大意把握力など、ことばの多様な技能が試される総合力問題である。だから、「これだけをやればすぐに英語の長文が読めるようになる」という単純な対策は存在しない。長文読解力を向上させるには、結局はこれら全ての力をバランスよく、丁寧に育てていかななくてはならないのだ。

本書ではまず、『**英文を読むための基礎知識**』で、英語の文を理解するための前提となる用語や知識を確認する。採り上げるのは品詞・句・節・5文型など、高校英語の基礎中の基礎の内容だが、英文読解力を高めるためには避けて通れないものだ。これらの基礎知識をしっかり理解することが、長文読解の最初のステップである。

Lesson1からは、長文読解に必要な技術の中で最も基本的なものを2つ(『**Phrase Reading**』『**文のつながり**』)取り上げて学習する。これらは、本来長文を読み解くためには基本中の基本の技術なのだが、学校の通常授業できちんと学ぶ機会ほとんどないのが実情のようだ。これらを確認して練習問題に取り組みながら、長文読解のための基礎力を身に着けることが、本書の目標である。

# Lesson 1 Phrase Reading (1)

## 0. 「英語の文章を読む」とは？

「英語を読む」とは、いったいどういうことなのでしょう。何ができれば、「私は英語で書かれたこの長い文章を読めた!」と言うことができるのでしょうか。皆さんは考えたことがありますか。

入試という場面で、試験問題の英語長文を読むという状況を考えた場合、文章を読むことのゴールは「英文を始めから終わりまできれいに和訳する」ことではありません。英語を日本語に訳し直す作業は、それだけ時間と労力が必要になりますが、入試という場での長文読解においては、読む時間が限られているので、隅から隅まで一つ一つの語と意味を分析していると、解答時間が足りなくなってしまう。英文を読む上で最も大事なことは、その英語の文章から、その文章の主旨(筆者が読者に伝えたいこと)であり、和訳はほとんど必要ないのです。



《英語から直接意味をつかむほうが、手間と時間の節約になる。》

つまり、英語の長い文章は、隅から隅まで 100%理解する必要も、また全てを適切な日本語に訳す必要もありません。例え理解度は 80%程度であっても、その文章の主旨(つまり「この文章で筆者が言いたいことはこれとこれとこれだ!」というようなこと)を自分の頭の中で理解することができれば、それで文章読解はほぼ成功だと言えるのです。大学入試の長文問題でも、ほとんどのものは、これくらいの理解度で十分に解くことができます。

## 1. フレーズ・リーディング

英文読解の究極的な理想は、ネイティブスピーカーと同じように、目に入ってくる英語を英語のまま理解できるようになることです。つまり、「英語の文章を、英語の順序通りに理解し、英文のメッセージを正しく頭の中に受け取っていく」ということなのですが、もちろん、日本人である私たちは、それができないから苦労しているわけです。

では、せめてその理想に近づいていくために、私たちは何をすればよいのでしょうか。その最初の一步として、英語の文を英語の語順のまま、「意味のまとまり (sense group)」ごとに読んで、意味をつかむという読み方を練習することから始めましょう。この読み方を「フレーズ・リーディング」といいます。英文の中に、意味のまとまりごとにスラッシュ (/) の記号を入れて、文を区切りながら読む練習をしてみます。

[例] There are ten students / in the classroom. 「意味のまとまり」ごとに区切ると

⇒ 「 / 」というメッセージが読み取れるでしょう。

## Reading 1

[目標解答時間:3分]

次の文は「意味のまとまり」ごとに区切られています。例にならって、英文の「意味のまとまり」ごとに、日本語をスラッシュで区切り、書き換えなさい。

例) Bob was very glad / to hear from Linda.

ボブは、リンダから連絡があったので、とても喜んだ。 〈日本語訳〉

ボブはとても喜んだ / リンダから連絡があったので 〈フレーズ・リーディング〉

(1) There are many interesting stories / in his new book.

彼の新しい本の中にはたくさんのおもしろい話がある。 〈日本語訳〉

---

(2) How many books / do you read / a year?

あなたは1年間に何冊の本を読みますか。 〈日本語訳〉

---

(3) The old man has been living / in that village / since he was a child.

その老人は、子どものころからずっとその村に住んでいる。 〈日本語訳〉

---

## Reading 2

[目標解答時間:5分]

次の文は「意味のまとまり」ごとに区切られています。「意味のまとまり」ごとに日本語をつけなさい。

(1) Plants do not grow / without water and sunshine.

---

(2) Before you send an e-mail, / read it through / carefully.

---

(3) She stopped walking / many times / because of the pain / in her leg.

---

【語句】 (3) many times :

because of A : A

pain :

## 2. フレーズの区切り方①

フレーズ・リーディングで文を読む時は、文をどの位置で区切るかが大切です。何も考えずに適当な位置で区切ってしまうと、かえって内容を理解しにくくなりますが、もちろん逆に、英文を理解しやすくするような区切り方もあります。ここからは、その適切な区切り位置を①から⑧まで全部で8点、紹介していきます。

### ① 接続詞の前

接続詞には**等位接続詞** (and, or, but など) と**従属接続詞** (that, when, if, because など) の2種類があるが、どちらもその後の内容をつなげて意味のまとまりを作るので、その**前で区切る**のがよい。

例1 Is Matt going to visit us in the morning or in the afternoon?

マットは私たちのところを訪れる予定ですか 朝に

例2 Kevin found that Carl was a very good guitarist.

ケ빈は気づいた

例3 Please contact us if you need more information.

どうぞ私たちに連絡を下さい あなたがもっと多くの情報を必要とする

特に**等位接続詞 and** は、前後の内容をどう結んでいるのかを誤解させることが多いので、**どの語・句・節・文を結んでいるか**を注意して正しく見極める必要がある。

例4 Jane went to the party, danced with Timmy and Zack, and sang in front of the people.

ジェーンはパーティーに ティミーやザックと 人々の前で歌を

単語2語以上がまとまって一つの接続詞の働きをする熟語もある。

例5 As soon as we get to the airport, we are going to have supper.

空港に着 私たちは夕食をとる予定です。

フレーズ・リーディングを行う場合は、/ (スラッシュ) で区切るだけでなく、他の記号や符号も用いて印をつけると、英文をさらに視覚的に捉えやすくなり、理解しやすくなります。例えば、**意味のまとまり**を( )〈 〉 [ ] [ ] などの**カッコ**で囲んだり、**ポイントになる語**を○や□で囲ったり、**下線**や**二重線**や**波線**を引いたりするとよいでしょう。自分自身が一番分かりやすく読み取ることができるよう、自分なりの印の付け方・書き込み方を工夫してみましょう。

### ② 長い主語・目的語の後

文中の主語・目的語が長くなっている場合は、メインである名詞の後に長い修飾句 [節] が置かれている (**後置修飾**) 可能性が高いので、その**句・節の範囲をカッコで区切る**とよい。

例6 I need a good private tutor to teach me English every week.

私は必要としている いい家庭教師を

特に現在分詞句・過去分詞句の後置修飾には注意しよう。

例7 The girl sitting on the bench is my cousin Jenny.

私のいとこのジェニーだ。

### ③ 前置詞の前

前置詞は、後に置かれる名詞と合わせて一つのまとまった意味を作るので、必ずその前で区切るようにする。

例 8 I arrived at the bus stop earlier than my friends.

私はバス停に早く着いた 友人たち

例 9 When Jack was 18, he was the captain of the swimming club in his school.

ジャックが 18 歳だった時 彼はキャプテンだった

### ④ to 不定詞の前

to 不定詞は、その後の内容が意味のまとまりを作るので、to の前で区切るのがよい。

例 10 We practiced very hard to win the important game.

私たちはとても一生懸命 その重要な試合に

例 11 Was your wife surprised to see Kurt and Nancy at the restaurant last night?

あなたの奥さんは驚きましたか カートとナンシーに そのレストランで 昨晚

## Reading 3

〔目標解答時間：7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) The language spoken in this country is not English.

---

(2) I took a taxi to be in time for the important meeting.

---

(3) She broke her promise to pay within a month.

---

(4) The girls playing with a little bear were surprised to see its mother appear from behind the rocks.

---

[HINTS] (1) 過去分詞 (2) to 不定詞・前置詞句 (3) to 不定詞 (promise の内容を説明する形容詞的用法)

(4) 長い主語・to 不定詞。to 以下は were surprised の原因を表す副詞的用法。

【語句】 (2) be in time for A : A (3) within A : A

(4) (主語 + ) 知覚動詞 + 目的語 + 原形不定詞 : (主語は) 目的語が不定詞するのを知覚する appear : 現れる

## Reading 4

〔目標解答時間:7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) The capital city of the U.S.A. is not New York, but Washington, D. C.

---

(2) I enjoyed watching some kinds of birds and animals living in cold weather.

---

(3) He got up suddenly, looked sharply at us, and walked out of the room.

---

**[HINTS]** (1) 長い主語・接続詞 (2) 分詞句の後置修飾

※等位接続詞がどの語・句・節を結んでいるのかも、きちんと分析しよう。

【語句】 (1) capital city : not A but B :  
(3) suddenly : look sharply : 鋭く見る、こらみつける



## Lesson 2 Phrase Reading (2)

### 3. フレーズの区切り方②

引き続き、フレーズの適切な区切り位置を紹介します。

#### ⑤ 記号・符号(コンマ、コロン、セミコロン、ダッシュなど)の後

1文の終わりを示す記号である**ピリオド**、**クエスチョンマーク**、**エクスクラメーションマーク**で区切るのは当然だが、**コンマ**、**コロン**、**セミコロン**、**ダッシュ**など、1文の内容を細かく区切る記号も、意味のまとまりを示す目印になる。

例 12 Keita wants to study abroad, so he has started saving money from this week.

ケイタは海外で勉強したいと思っている だから彼は始めた お金を貯めることを 今週から

例 13 Meg takes four courses: Literature, Linguistics, Biology, and Chemistry.

メグは4科目を取っています 文学、言語学、生物学、そして化学です。

例 14 Many kids — including their mothers — participated in the event.

たくさんの子供たちが 彼らの母親たち 参加した その催し物に。

#### ⑥ 基本5文型のまとまりの後

英文の4要素(SVOC)から成る、いわゆる基本5文型は、もちろん一つのまとまった文として意味を作るので、その**後で区切る**のがよい。文の基本型の後にさらに語・句・節が続く場合は、前部とは分けて意味をつかもう。

例 15 They are climbing the mountain singing amusing songs.

彼らは山に登っている 愉快的な歌を歌い

特に文中で**形式主語**または**形式目的語**の **it** が用いられている場合は、いったん **it** までを含めた基本文型の範囲の意味を把握してから、後の部分へ進むのがよい。

例 16 It's significant to try to understand different cultures.

それは 異文化を理解しようとする

例 17 I think it natural to take care of my little brothers when my parents are very busy.

私はそれ 思う 小さい弟たち 両親がとても忙しい時に

## ⑦ 形容詞節を作る関係詞の前

関係代名詞・関係副詞は、先行する名詞（※先行詞と呼ばれる）を修飾する節（形容詞節）を作るので、その節の範囲をカッコで区切るのがよい。

例 18 I have an uncle who lives in New York.

私は叔父がいる

例 19 The TV program which Eddy recommended me to watch was really interesting.

そのテレビ番組 は、本当に興味深かった。

ただし、目的格の関係代名詞は省略されることがある点に注意しよう。

例 20 The doctor Pam saw yesterday told her to get more exercise.

その医者 は 彼女に言った もっと運動するように。

## ⑧ 熟語・慣用表現・特殊な構文などの前後

複数の単語がまとまって一つの意味を作っている場合は、あえてそのまとまりをさらに細かく区切る必要はない。自分が自然に理解できる範囲で区切れればよい。

例 21 I want to know if Billy can speak Japanese well.

私は ビリーが日本語を上手に話せるかどうかを

例 22 He managed to pass her driving test on the fifth try.

彼は 運転免許の試験に 5回目の挑戦で

例 23 Did you help Masato to do his homework during the summer vacation?

あなたはマサト を手伝いましたか 夏休みの間

例 24 We were watching them dance gracefully on the stage.

私たちは彼ら を見ていた 優雅に 舞台の上で

## Reading 1

〔目標解答時間:7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) What can we do for the people who can't speak Japanese at all?

---

(2) Mary saw that he was tired and didn't want to walk any more.

---

(3) The vegetables which received music became taller than the vegetables in the silent room.

---

(4) The birds living in nature will live longer than those living in large cities.

---

**[HINTS]** (1) 関係代名詞 (2) that 節以下は全て saw の目的語 (3) 関係代名詞・than・前置詞句 (4) those = the birds  
【語句】 (1) not at all : (2) not any more :

## Reading 2

〔目標解答時間:7分〕

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) Dolphins have big mouths and lots of small but sharp teeth. They use these teeth when they

---

catch fish. They don't use their teeth to eat the fish. They swallow the fish without chewing

---

them. [35 語]

---

(2) Have you ever thought where our food comes from? Japan imports a lot from many foreign

---

countries. You should check food labels to find out where they come from. [29 語]

---

**[HINTS]** (1) They, them が何を指すかを見極めよう。 (2) “where our food ~”の部分は、疑問詞を含む名詞節で、全体が目的語の働きをしている。to 不定詞は目的を表す副詞的用法。

【語句】 (1) swallow O : O を飲み込む chew O : O を噛んで食べる (2) import O : O を輸入する

#### 4. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む①

英語と日本語は、文を作る際の単語の並べ方（語順）が大きく異なるので、英文をきちんとした日本語に直して理解しようとすると、1つの文を読むのに長い時間がかかってしまいます。英語を母語とする人たちと同じようなスピードで英語を読めるようになるためにも、フレーズ・リーディングを身につけることは大事なのです。

一般的に、英語は、[[主語]－[述語動詞]]という大きな柱が先に来て、その柱に補足説明が次々と付け足されていくという形で1つの文が構成されます。ですから、次の例5のように、

例1 ① I ② borrowed a book ③ from the city library ④ yesterday.

⇒ ①私は ④昨日 ③市立図書館で ②本を借りた という、日本語の正しい順番で理解するのではなく、

⇒ ①私は ②本を借りた ③市立図書館で ④昨日 というように、

英語の語順の通り、①→②→③→④という順番で読み、メッセージを受け取るようにしましょう。

### Reading 3

〔目標解答時間：7分〕

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

More and more young Japanese people are interested in working abroad as volunteers

---

these days. Some people are helping farmers in some Asian countries because they want to

---

help the farmers to produce enough food. Some people are trying to share their knowledge and

---

skills with people in Africa.

[49 語]

---

【語句】 farmers : 農家の人、農民      help O to 不定詞 : Oが不定詞するのを助ける      produce O : Oを  
try to 不定詞 : 不定詞し      share O with A : OをAと共有する      knowledge :  
skill :

## Reading 4

〔目標解答時間:7分〕

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

Studying abroad is certainly a good way to improve your English. However, you can get

---

better at English in Japan if you practice it at home and at school every day. Listening to CDs

---

and watching movies and the news in English on TV are very popular among Japanese students.

---

I think that the most important thing is to try to use English as often as possible. [67 語]

---

**[HINTS]** 1. 動名詞と to 不定詞の用法に注意する。 2. 従属接続詞 if を用いた副詞節。

3. 2つの等位接続詞 and がそれぞれ何と何を結んでいるのかを注意して見極めよう。

4. that 節が think の目的語として働いている。

【語句】 certainly : improve O : O を

get better at A : A

be popular among A : A

as often as possible : できるだけ

## Lesson 3 Phrase Reading (3)

### 5. フレーズ・リーディングでまとまった文章を読む②

フレーズ・リーディングに慣れてきたら、sense group 一つの区切りを長くしてみましょう。いっそう速く読めるようになるはずですよ。

次の英文を例にとってみます。

例1 A lot of people in this town are glad to know that a new park will be built.

この文は、これまでに確認したポイントを基準にして細かく区切ると、以下のように読むことができます。

例1' A lot of people <in this town> are glad / to know [that] a new park will be built. ]  
多くの人が <この町の> 喜んでいる / 知って [新しい公園が作られる] ということを]

しかし、これをもう少し長めに区切ってみると、例えば以下のように読むことができます。

例1" A lot of people in this town / are glad to know [that] a new park will be built. ]  
この町の多くの人が / 知って喜んでいる [新しい公園が作られる] ということを]

このように長く区切ると、意味をつかむ場所の数を減らすことができ、その分、読むスピードを上げることができるのです。

ただし、区切る範囲が長すぎると、かえって内容をつかみにくくなる場合もあります。あくまでも、文を読んでいる自分がきちんと内容を理解できる [メッセージを受け取ることができる] 範囲で区切るようにすることが大切です。

## Reading 1

〔目標解答時間:7分〕

次の文を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

(1) It is important to understand that writing books is difficult.

---

(2) Many flowers are planted in the garden: tulips, roses, lilies, and so on.

---

(3) I had difficulty in finding the shop at night.

---

(4) Free education for all — whether rich or poor — is needed in this country.

---

【HINTS】(1) 形式主語 (2) コロン (3) 慣用表現 (4) ダッシュ

【語句】 (2) plant O : O を          lily : ユリ          and so on : ~など

(3) have difficulty (in) 現在分詞 : 分詞するのに苦労する          (4) education : 教育

## Reading 2

〔目標解答時間:10分〕

次の文章を、「意味のまとまり」ごとにスラッシュなどを入れて区切り、日本語をつけなさい。

There are many kinds of paper products around us: books, notebooks, newspapers and

---

wrapping paper. The problem is that we use too much paper in our lives. I traveled in England

---

with my parents last year. When I bought some gifts for my friends, I found that they were not

---

wrapped in paper. I thought that it is not necessary to wrap everything in paper. [65 語]

---

【語句】 product : 製品          wrap O : O を

次の文章をスラッシュなどを入れて区切りながら読み、下のA～Cの質問に日本語で答えなさい。

One summer evening, when I was sitting by the open window and reading a book, I heard a loud cry of “Help! Help!” It seemed to come from the trees at the end of the garden. I looked out, but I couldn’t see anything clearly. Just then I heard the cry again. It sounded like a child’s cry. Could it be one of the boys in the neighborhood had climbed a tree and couldn’t get down? 5

I went out into the garden with a flashlight. “Who’s there?” I called out, but there was no answer. With the help of my flashlight, I examined the trees. There was no sign of anyone or anything. At last, I came to think someone must be playing a joke on me. 10

I gave it up and went back to the house, but I was still feeling puzzled. Just when I sat down and began to read my book again, I was surprised by another cry of “Help! Help!” This time it came from just behind my shoulder. I dropped my book and jumped up. A bird was there! A large green and red bird was on the top of the bookshelf. It was a parrot! While I was out in the garden, the bird probably saw the light in my room and flew in through the open window. [224 語] 15

【語句】 neighborhood : 近所    flashlight : 懐中電灯    examine O : O を調べる

come to 不定詞 : 不定詞するようになる    play a joke on A : A をからかう    puzzled : 困惑している

flew : ※fl の過去形

A 不思議な声は最初どこから聞こえましたか。

---

B 庭を調べた結果、語り手は不思議な声をどう解釈しましたか。

---

C 結局、声の主はだれでしたか。

---



## Exercise 1 Phrase Reading

### Exercise 1

〔目標解答時間:3分〕

次の文章をスラッシュ(/)などを入れて区切りながら読み、本文の内容と一致するものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

The other day, a Japanese man asked me, “American men are really kind to women, aren’t they?” At first, I wondered why so many Japanese people think that way. Now I understand it’s because of the “ladies first” idea and the myth in Japan that most American men help with the housework. I usually say that it depends on the person.

Don’t get me wrong. I know a lot of kind American men. But if you ask women all over 5 America the same question, I don’t think you’ll get a simple “yes” from anyone. The relationship between men and women is not that simple. [104 語]

【語句】 the other day : 先日      wonder + 間接疑問文 : ~か(な)と思う      that way : そんなふうに  
myth : 神話      depend on A : Aに      、 A      get O wrong : O (のこと)を誤解する  
relationship :

- a. 筆者は頻繁に日本人男性から質問されることを面倒に感じている。
  - b. 多くの日本人は、アメリカ人男性は女性に優しいと思っている。
  - c. 筆者は、女性に優しいアメリカ人男性をほとんど知らない。
  - d. ほとんどのアメリカ人女性は、アメリカ人男性は女性に優しいと思っている。
  - e. 男女の関係は案外単純なものである。
-

## Exercise 2

[目標解答時間: 8分]

次の文章を読み、下の質問に答えなさい。

We have to make greater efforts to protect forests.

(1) Trees are important because they give us wood to build our houses or to make desks, tables, and paper. They help make the air clean, and do many other things, too.

What do trees in the mountains do when it rains heavily? They keep rain water in their roots. So it stays there and runs out of the ground slowly. (2) But if there are no trees in the mountains, the rain water will run down fast and often wash our houses and fields away.

[93 語]

【語句】 make efforts : 努力する      protect O:O を      help + 原型不定詞 : 不定詞するのを助ける  
root :      wash O away : Oを

A 下線部(1)(2)にスラッシュ(/)などを入れ、意味のまとまりごとに日本語に直しなさい。

(1) Trees are important because they give us wood to build our houses or to make desks, tables,

---

and paper.

---

(2) But if there are no trees in the mountains, the rain water will run down fast and often wash

---

our houses and fields away.

---

B 人間にとって木が必要なものである理由を3つ、日本語で挙げなさい。

○

---

○

---

○

---

## Exercise 3

〔目標解答時間:10分〕

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

One day, I got on an elevator in a department store. Some other people also got on then. (1)I was surprised to see an old Japanese woman push the button which would close its door as soon as the last person got on it. Was she in a hurry? Or was she being chased by anyone? It did not seem so. Even if no one pushes the button, the door usually closes automatically in less than ten seconds at most. Moreover, at the next stop, before a few 5 people had finished getting off, another young man in the elevator put his finger on the closing button and was ready to push it. Was he in a hurry, too?

Some days later I told my Japanese friend about what I had seen in the elevator. He smiled and said, "Perhaps they thought they did not want to make others wait. It may be a kind of consideration. (2)Japanese often think it important not to trouble others or not to be thought a person who does not care about others." 10

I think we Westerners often decide things considering only ourselves, not others. I'm sure that is very important, but at the same time, we should understand that different cultures have different ways of thinking. [212 語]

【語句】 知覚動詞+O+原型不定詞 : Oが不定詞するのを知覚する      in a hurry :  
chase O : Oを追いかける      automatically : 自動的に      at most : 多くても、最大でも、せいぜい  
使役動詞+O+原型不定詞 : Oに不定詞させる      consideration : 考慮、配慮、思いやり  
trouble O : Oに      Westerners : 西洋人      be sure (that) SV : SはVすると  
at the same time :

A 下線部(1)(2)にスラッシュ(/)などを入れ、意味のまとまりごとに日本語に直しなさい。

(1) I was surprised to see an old Japanese woman push the button which would close its door as

---

soon as the last person got on it.

---

(2) Japanese often think it important not to trouble others or not to be thought a person who

---

does not care about others.

---

B 本文の内容と一致するものを、下の a~h から2つ選びなさい。

- a. ある日、筆者は会社のエレベーターに乗ろうとしたが、乗る前にエレベーターのドアを閉められてしまった。
- b. ある日、筆者がエレベーターに乗った時に、老婦人が慌てた様子で乗り込んできた。
- c. 普通エレベーターのドアは3秒くらいで閉まる。
- d. ある若者はその階で降りる人のためにドアが閉まらないようにボタンを押し続けていた。
- e. 日本人は他人に迷惑をかけないことを重要視する。
- f. 日本人は欧米人に比べて、確かにせっかちなところがある。
- g. 文化による考え方の違いがあることを理解するべきである。
- h. 私たち日本人は欧米人の考え方の違いを理解することは無理である。

---

[HINTS] A (1) 〈感情の形容詞＋不定詞〉、〈知覚動詞＋O＋動詞の原形〉の形に注意。

(2) "S think it important"が第何文型かを考える。また、この文中の it は形式目的語で、意味上の目的語は後に置かれている。

